

事業概要

令和5年度
(令和4年度実績)

徳島県食肉衛生検査所
徳島市不動本町2丁目140-3
TEL 088-633-8277
FAX 088-633-8275

目次

第1章 総説

1	沿革	2
2	組織・機構	3
3	職員構成	3
4	施設の概要	4
5	食肉衛生検査所及びと畜場の所在地	5
6	徳島県食肉衛生検査所設置条例	6
7	と畜検査手数料	6
8	所長決裁の範囲	7
9	主な検査機械器具一覧	8
10	と畜場の概要	9

第2章 と畜検査事業

1	と畜検査事業の概要	11
2	と畜場別検査状況	12
3	月別検査状況	13
4	と畜検査結果に基づく処分	14
5	とさつ解体禁止及び全部廃棄の疾病別頭数	15
6	全部廃棄処分の疾病別内訳	16
7	病畜検査頭数及び精密検査件数	17
8	と畜検査の保留検査状況	18
9	残留抗菌性物質検査状況	18
10	と畜検査頭数の推移	19
11	衛生証明書発行業務	20

第3章 畜水産食品等検査事業

1	畜水産食品等検査事業の概要	22
2	畜水産食品等の試験検査件数	22
3	残留有害物質モニタリング検査件数	23
4	枝肉及び施設等の微生物検査件数	24
5	放射性物質検査	24

第4章 伝達性海綿状脳症対策事業

1	伝達性海綿状脳症対策事業の概要	26
2	牛海綿状脳症(BSE)スクリーニング検査件数	26
3	めん羊・山羊の伝達性海綿状脳症(TSE)スクリーニング検査件数	26

第5章 食鳥指導事業

1	食鳥指導事業の概要	28
2	食鳥処理施設	28
3	食鳥処理の状況	29
4	食鳥検査羽数及び食鳥のとさつ、内臓の摘出禁止又は廃棄したものの原因	30
5	許可、変更、認定等の件数	31
6	指導等の状況	31
7	収去検査等の状況	31
8	精密検査件数	31

第6章 調査研究・啓発事業等

1	研修・学会等の状況	33
2	啓発事業等の状況	34

第1章 総説

1. 沿革

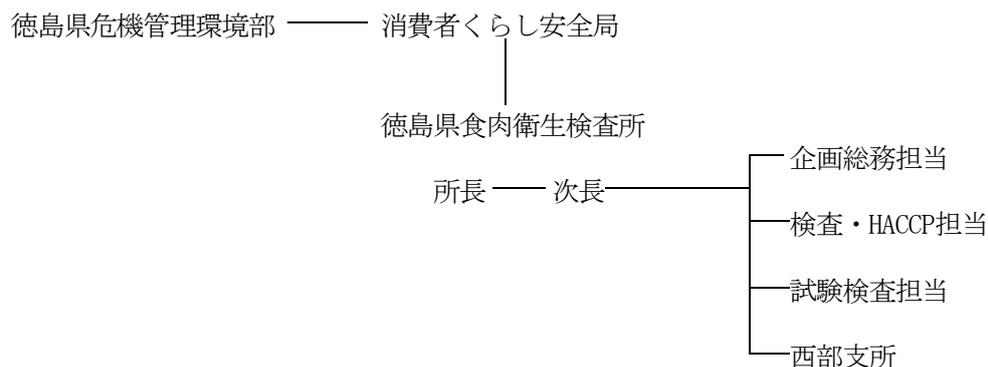
わが国の食肉検査は、明治4年大蔵省通達「屠牛取締方」に始まり、同39年の「屠場法」制定により確立された。また、昭和28年には「と畜場法」が制定され、各保健所獣医師職員が「と畜検査員」として「と畜検査」を実施することとなった。

昭和21年当時、徳島県下には11カ所のと畜場（簡易と畜場を含む）が存在していたが、その後の統廃合により、平成3年3月末に現在の5カ所となった。

さらに、平成3年4月1日、より高度な技術に基づく科学的食肉検査と検査体制の広域化、一元化を図るとともに、食鳥肉も含めた総合的な食肉の安全を確保するため、「徳島県食肉衛生検査所」が保健所から分離独立し設置された。

平成3年	平成3年4月 徳島県食肉衛生検査所設置 徳島県食肉衛生検査所設置条例（平成3年3月22日徳島県条例第8号） 徳島県と畜場法施行細則（平成3年4月1日一部改正）
平成4年	管理課に「食鳥指導係」を置く 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成4年4月1日徳島県規則第33号）
平成7年	管理課精密検査係を精密検査課として設置 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成7年3月31日徳島県規則第39号） 新庁舎落成にともない検査所の位置を「徳島市不動本町二丁目」に変更する 徳島県食肉衛生検査所設置条例の一部改正（平成7年12月25日徳島県条例第59号）
平成13年	BSEスクリーニング検査開始（10月18日）
平成14年	精密検査課に「精密検査第三係」を置く 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成14年3月29日徳島県規則第43号）
平成16年	時間外と畜検査実施要綱を9月30日をもって廃止とする
平成17年	検査課に「検査第三係」を置く 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成17年3月31日徳島県規則第59号）
平成18年	検査課、精密検査課の係及び食鳥指導係を担当制とする 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成18年3月31日徳島県規則第50号）
平成19年	管理課を廃止し「企画総務課」を置き、担当制とする 徳島県行政組織規則の一部を改正する規則（平成19年4月27日徳島県規則第43号）
平成21年	と畜検査手数料改正 徳島県保健福祉関係手数料条例の一部を改正する条例 （平成21年3月26日徳島県条例第18号）
平成26年	精密検査担当を廃止し試験検査担当とする
平成29年	検査担当を廃止し検査・HACCP推進担当とする
令和 5年	検査・HACCP推進担当を廃止し、検査・HACCP担当とする。

2. 組織・機構



3. 職員構成

(R5.6.1現在)

分類		正規職員			会計年度任用職員 (フルタイム)		会計年度任用職員 (パートタイム)			計
		獣医師	薬剤師	事務職	一般事務	技能労務	獣医師	専門業務	技能労務	
組織	所長	1								1
	次長	1								1
企画総務担当	企画総務担当	2		1	1					4
検査・HACCP推進担当	課長	1								1
	検査・HACCP担当	9				1	4		1	15
試験検査担当	試験検査担当	4	2					2		8
西部支所	支所長	1								1
	担当	2								2
合計		21	2	1	1	1	4	2	1	33

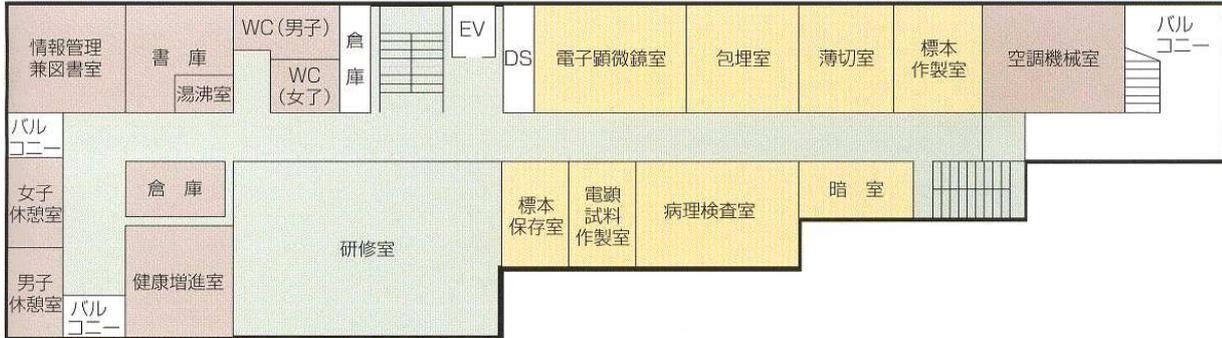
4. 施設の概要

(1) 施設の概要

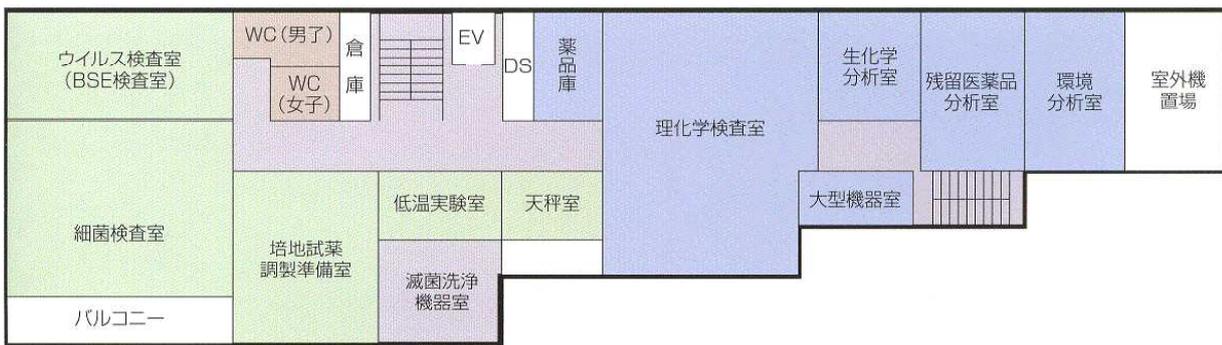
敷地面積	2,257.11㎡	管理部門	1,153.147㎡
延床面積	1,872.32㎡	理化学部門	275.273㎡
構造規模	鉄筋コンクリート3階建	微生物部門	230.700㎡
附属施設	駐車場 1,150㎡	病理部門	213.200㎡

(2) 平面図

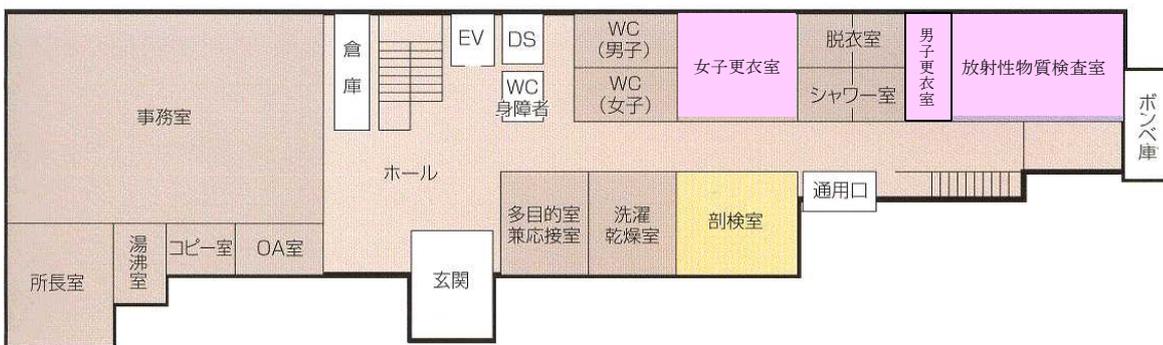
3階



2階

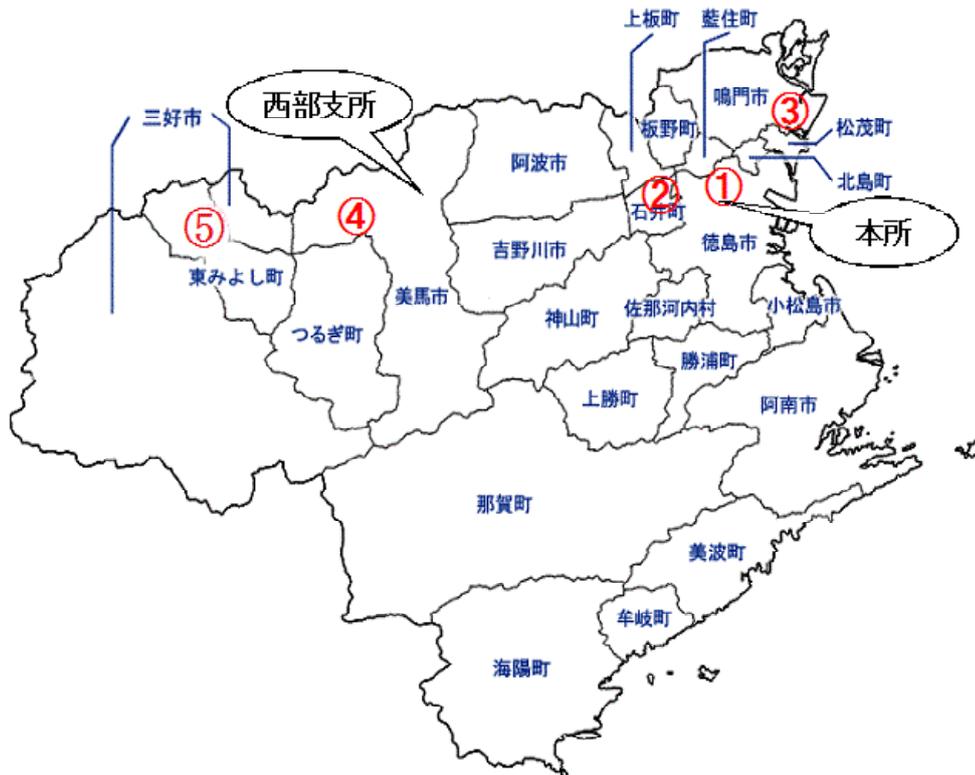


1階



5. 食肉衛生検査所及びと畜場の所在地

本所 徳島県食肉衛生検査所 徳島市不動本町2丁目140-3 TEL 088 (633) 8277 FAX 088 (633) 8275	—	徳島市立食肉センター ① 徳島市不動本町3丁目1724-2 TEL 088 (632) 0321
		日本ハム(株)徳島工場附設と畜場 ② 名西郡石井町高川原字高川原831-1 TEL 088 (674) 4191
		眉山食品(株)鳴門食肉センター ③ 鳴門市撫養町南浜字大工野51-2 TEL 088 (685) 8222
西部支所 美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73 西部総合県民局美馬庁舎 TEL, FAX 0883 (53) 8477	—	美馬食肉センター ④ 美馬市美馬町字中須82-1 TEL 0883 (63) 2197
		(株)にし阿波ビーフ ⑤ 三好郡東みよし町足代890-3 TEL 0883 (76) 5055



6. 徳島県食肉衛生検査所設置条例

徳島県食肉衛生検査所設置条例（平成3年3月22日 徳島県条例第8号）

（設置）

第一条 地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第一百五十六条第一項及び第二項の規定に基づき、と畜場法(昭和二十八年法律第百十四号)に基づくと畜検査その他獣畜の処理の衛生に関する事務、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成二年法律第七十号)に基づく食鳥処理の衛生に関する事務及び食品衛生法(昭和二十二年法律第二百三十三号)に基づく食品衛生に関する事務を分掌させるため、徳島県食肉衛生検査所(以下「食肉衛生検査所」という。)を設置する。

2 知事は、必要があると認めるときは、食肉衛生検査所に支所を置くことができる。
(平一五条例三七・一部改正)

（名称、位置及び所管区域）

第二条 食肉衛生検査所の名称、位置及び所管区域は、次の表のとおりとする。

名 称	位 置	所管区域
徳島県食肉衛生検査所	徳島市不動本町二丁目	県の区域

(平七条例五九・一部改正)

附 則

この条例は、平成三年四月一日から施行する。ただし、第一条第一項中食鳥処理の衛生に関する事務及び食鳥処理場における食品衛生に関する事務に係る部分は、平成四年四月一日から施行する。

附 則(平成七条例第五九号)

この条例は、平成八年一月一日から施行する。

附 則(平成一五年条例第三七号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成二三年条例第四八号)

この条例は、平成二十四年一月一日から施行する。

7. と畜検査手数料

(単位：円)

種類	牛・馬	生後1才未満の牛	200kg以下の馬	豚・めん羊・山羊
手数料	800	500	400	300

徳島県危機管理関係手数料条例
(平成16年 徳島県条例第39号)

8. 所長決裁の範囲

- 一 徳島県危機管理関係手数料条例に関する次のこと。
 - 1 第二条の規定による手数料の徴収(委任事務に係るものに限る。)
 - 2 第五条の規定による手数料の減免(委任事務に係るものに限る。)

- 二 と畜場法(昭和二十八年法律第百十四号)に関する次のこと。
 - 1 第四条第一項の規定によると畜場の設置の許可及び同条第三項の規定によると畜場の構造設備等の変更の届出の受理
 - 2 第五条第二項の規定による獣畜の種類及び一日当たりの頭数の制限
 - 3 第七条第六項(第十条第二項において準用する場合を含む。)の規定による衛生管理責任者等の配置又は変更の届出の受理
 - 4 第八条(第十条第二項において準用する場合を含む。)の規定による衛生管理責任者等の解任命令
 - 5 第十二条第一項の規定によると畜場使用料及びとさつ解体料の認可
 - 6 第十三条第一項第一号の規定による自家用とさつの届出の受理及び同条第三項の規定によると畜場以外の場所において獣畜をとさつし、又は解体する者に対する必要な指示
 - 7 第十四条第一項から第三項まで(同条第四項において準用する場合を含む。)の規定による獣畜のとさつ、解体等の検査
 - 8 第十六条の規定による公衆衛生上必要な限度における措置
 - 9 第十七条第一項の規定によると畜場の設置者若しくは管理者、と畜業者その他の関係者からの報告の徴収及び当該職員による立入検査
 - 10 第十八条第一項の規定によると畜場の許可の取消し又はと畜場の施設の使用の制限若しくは停止命令及び同条第二項の規定によるとさつ若しくは解体の業務の停止命令又は禁止

- 三 と畜場法施行令(昭和二十八年政令第二百十六号)に関する次のこと。
 - 1 第四条第二号の規定による地域の指定及び獣畜のとさつの許可
 - 2 第五条第一項第一号から第三号までの規定によると畜場外への持出しの許可

- 四 と畜場法施行条例(平成十二年徳島県条例第三十一号)に関する次のこと。
 - 1 第三条の規定による完了の届出の受理及び検査
 - 2 第四条の規定による届出の受理

- 五 食品衛生法第五十九条の規定による食品等の廃棄その他食品衛生上の危害除去のための必要な措置命令(と畜場内及び食鳥処理場内におけるものに限る。)

- 六 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成二年法律第七十号)に関する次のこと。
 - 1 第三条の規定による食鳥処理の事業の許可
 - 2 第六条第一項の規定による食鳥処理場の構造又は設備の変更の許可及び同条第三項の規定による氏名等の変更の届出の受理
 - 3 第七条第二項の規定による地位の承継の届出の受理
 - 4 第八条の規定による食鳥処理の事業の許可の取消し又は事業の全部若しくは一部の停止命令
 - 5 第九条の規定による食鳥処理場の整備改善命令若しくは食鳥処理場の全部若しくは一部の使用の禁止命令又は食鳥処理の事業の許可の取消し若しくは食鳥処理の事業の全部若しくは一部の停止命令
 - 6 第十三条の規定による食鳥処理衛生管理者の解任命令
 - 7 第十四条の規定による廃止、休止又は再開の届出の受理
 - 8 第十五条第一項から第三項までの規定による検査
 - 9 第十六条第六項の規定による解任命令並びに同条第九項の規定による認定小規模食鳥処理業者に対する指導及び助言
 - 10 第二十条の規定による措置
 - 11 第二十五条第三項の規定による食鳥検査の実施の報告の受理
 - 12 第三十七条第一項の規定による報告の徴収
 - 13 第三十八条第一項の規定による当該職員による立入検査及び関係者に対する質問等

- 七 徳島県食肉衛生検査所の施設の維持及び管理の業務の委託に関する事務の処理

9. 主な検査機械器具一欄

機械器具名	数量	機械器具名	数量
透過型電子顕微鏡	1	電気泳動ゲル撮影装置	1
凍結組織切片作成装置	1	パルスフィールド電気泳動装置	1
写真顕微鏡システム	1	感染動物飼育装置	1
密閉式自動包埋装置	2	手指消毒器	2
落射型蛍光顕微鏡	1	ストマッカー	3
ディスクッション顕微鏡	1	マイクロ冷却遠心機	1
電顕用自動現像機	1	乾熱滅菌器	2
臓器撮影装置	2	高圧蒸気滅菌器	5
真空蒸着装置	1	微量用遠心濃縮器	1
ガラスナイフ制作機	1	実体顕微鏡	1
サーバイメーター	1	光学顕微鏡	6
ガンマ線核種分析測定装置一式	1	デンシトメータ	1
ベクレルモニター	1	超低温フリーザ	2
マイクロプレートリーダー制御システム	2	細胞破碎装置	4
マイクロプレートウォッシャー	3	CO2インキュベーター	1
高速液体クロマトグラフ	1	恒温水槽	5
原子吸光分光高度計	1	精密電子天秤	1
LC-MS-MS	1	恒温器	2
ガスクロマトグラフ装置	1	ホモジナイザー	4
臨床化学自動分析装置	2	安全キャビネット	1
冷却遠心分離機	3	クリーンベンチ	3
紫外可視分光光度計	1	pHメーター	2
分光測色計	1	バイオシェイカー	1
超音波洗浄機	2	等温遺伝子増幅装置	2
純水製造装置	3	コロニーカウンティングシステム	1
有機溶媒回収装置	1	核酸抽出・精製装置	1
遺伝子解析装置	1	蛍光励起用LED透過光源装置	1
リアルタイムPCRシステム	2		
サーマルサイクラー	3		
嫌気培養装置	2		
電気泳動装置	2		

10. と畜場の概要

と畜場 番号 区分		①	②	③	④	⑤
		名称	徳島市立 食肉 センター	日本ハム(株) 徳島工場 附設と畜場	眉山食品 (株)鳴門 食肉 センター	美馬食肉 センター
設置者	徳島市	日本ハム(株)	眉山食品 株式会社	中川 龍夫	株式会社 にし阿波 ビーフ	
所在地	徳島市不動本 町三丁目1724 -2	名西郡石井町高川 原字高川原838-1	鳴門市撫 養町南浜 字大工野 51-2	美馬市美馬町字 中須82-1	三好郡 東みよし町 足代890-3	
設置許可 年月日	昭和61年 12月18日	昭和49年 10月1日	平成28年 3月30日	平成24年 3月31日	平成28年 3月18日	
敷地面積	15,430㎡	71,824㎡	14,702㎡	2,227㎡	4,389㎡	
建築面積 (延)	7,830㎡	12,366㎡	2,995㎡	306㎡	1,335㎡	
処 理 数	大動物	150頭/日			11頭/日	27頭/日
	小動物	400頭/日	916頭/日	250頭/日		
汚 水 処 理	能力	1,200m ³	2,000m ³	800m ³	44m ³	
	処理 方式	活性汚泥法 (接触爆気 ・凝集沈殿)	活性 汚泥法	活性 汚泥法	活性 汚泥法	公共下水

第2章 と畜検査事業

1. と畜検査事業の概要

(1) 検査頭数

令和4年度の検査頭数は、218,575頭（牛 6,768頭 とく 11頭 馬 73頭 豚 211,723頭）であり、対前年比103%（牛103% とく122% 馬103% 豚103%）と増加した。

(2) 時間外とさつ・切迫とさつ獣畜の検査状況

時間外と畜検査は平成17年10月1日より廃止されている。
切迫とさつは平成7年度より0頭である。

(3) 検査結果による処分

イ. とさつ禁止

牛1頭（敗血症1頭）、豚15頭（豚丹毒15頭）の計16頭であった。

ロ. 全部廃棄

牛55頭（牛伝染性リンパ腫29頭、水腫11頭、敗血症9頭、黄疸2頭、腫瘍2頭、膿毒症1頭、その他1頭）、豚178頭（敗血症94頭、膿毒症37頭、豚丹毒24頭、変性又は萎縮11頭、水腫6頭、腫瘍6頭）であった。

ハ. 一部廃棄

牛2,812頭（前年度比83%）、豚107,969頭（89%）で牛豚ともに炎症に関連したものが多かった。

(4) 保留検査頭数

と畜検査における保留検査実施頭数は82頭であり、検査結果に基づき59頭の全部廃棄処分を行った。保留理由の内訳は、牛では牛伝染性リンパ腫、敗血症の順で多く、豚では敗血症、豚丹毒が多かった。

(5) 衛生指導事業

「と畜場法」及び「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」が、平成30年に改正となり、全てのと畜場及び食鳥処理場において、HACCP（国際標準である衛生管理手法）に沿った衛生管理が制度化され、令和3年6月からは完全施行された。

当所では、法律の施行以前から、と畜場及び食鳥処理場関係者と協議を重ね、衛生指導を行うことでHACCP導入を推進した結果、現在稼働している県内のと畜場及び大規模食鳥処理場の全てにおいて「徳島県HACCP認証」を取得するに至った。

法律の施行後は、職員による継続的な施設監視と、関係書類や記録の確認及び細菌検査などを定期的に行う「外部検証」等を実施し、さらなる衛生水準の向上に努めた。

また、7月及び8月を「と畜場衛生向上月間」と定め、7月から8月にかけて、その一環として、管内4と畜場において衛生講習会を実施した。

2. と畜場別検査状況

畜種 と畜場名	牛			※とく	馬	豚	めん羊・山羊	総計	検査日数
	肉用種	乳用種	小計						
徳島市立 食肉センター	4,351	915	5,266	11	73	23,280		28,630	246
日本ハム(株) 附設と畜場						158,138		158,138	245
眉山食品(株) 鳴門 食肉センター						30,305		30,305	244
美馬 食肉センター									
株式会社 にし阿波 ビーフ	1,502		1,502					1,502	96
総合計	5,853	915	6,768	11	73	211,723		218,575	

3. 月別検査状況

と畜場	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	畜種													
徳島市立食肉センター	牛	511	491	396	487	380	400	426	500	551	393	353	378	5,266
	とく	1	1	1	1		3		1	1	1		1	11
	馬	4	6	5	7	3	7	7	8	8	7	6	5	73
	豚	1,887	1,824	2,000	1,676	1,996	1,931	2,045	2,296	1,920	1,877	1,742	2,086	23,280
	緬山羊													
	小計	2,403	2,322	2,402	2,171	2,379	2,341	2,478	2,805	2,480	2,278	2,101	2,470	28,630
日本ハム(株)附設と畜場	豚	13,021	11,394	14,084	12,424	12,449	11,285	13,332	14,737	12,965	13,566	13,281	15,600	158,138
	小計	13,021	11,394	14,084	12,424	12,449	11,285	13,332	14,737	12,965	13,566	13,281	15,600	158,138
眉山食品(株)鳴門食肉センター	豚	2,378	2,337	2,716	2,022	2,490	2,596	2,770	2,738	2,523	2,480	2,379	2,876	30,305
	小計	2,378	2,337	2,716	2,022	2,490	2,596	2,770	2,738	2,523	2,480	2,379	2,876	30,305
美馬食肉センター	牛													
	とく													
	馬													
	小計													
株式会社にし阿波ビーフ	牛	101	123	123	151	143	137	113	132	113	115	128	123	1502
	とく													
	小計	101	123	123	151	143	137	113	132	113	115	128	123	1502
総合計	牛	612	614	519	638	523	537	539	632	664	508	481	501	6,768
	とく	1	1	1	1		3		1	1	1		1	11
	馬	4	6	5	7	3	7	7	8	8	7	6	5	73
	豚	17,286	15,555	18,800	16,122	16,935	15,812	18,147	19,771	17,408	17,923	17,402	20,562	211,723
	緬山羊													
	計	17,903	16,176	19,325	16,768	17,461	16,359	18,693	20,412	18,081	18,439	17,889	21,069	218,575

4. と畜検査結果に基づく処分

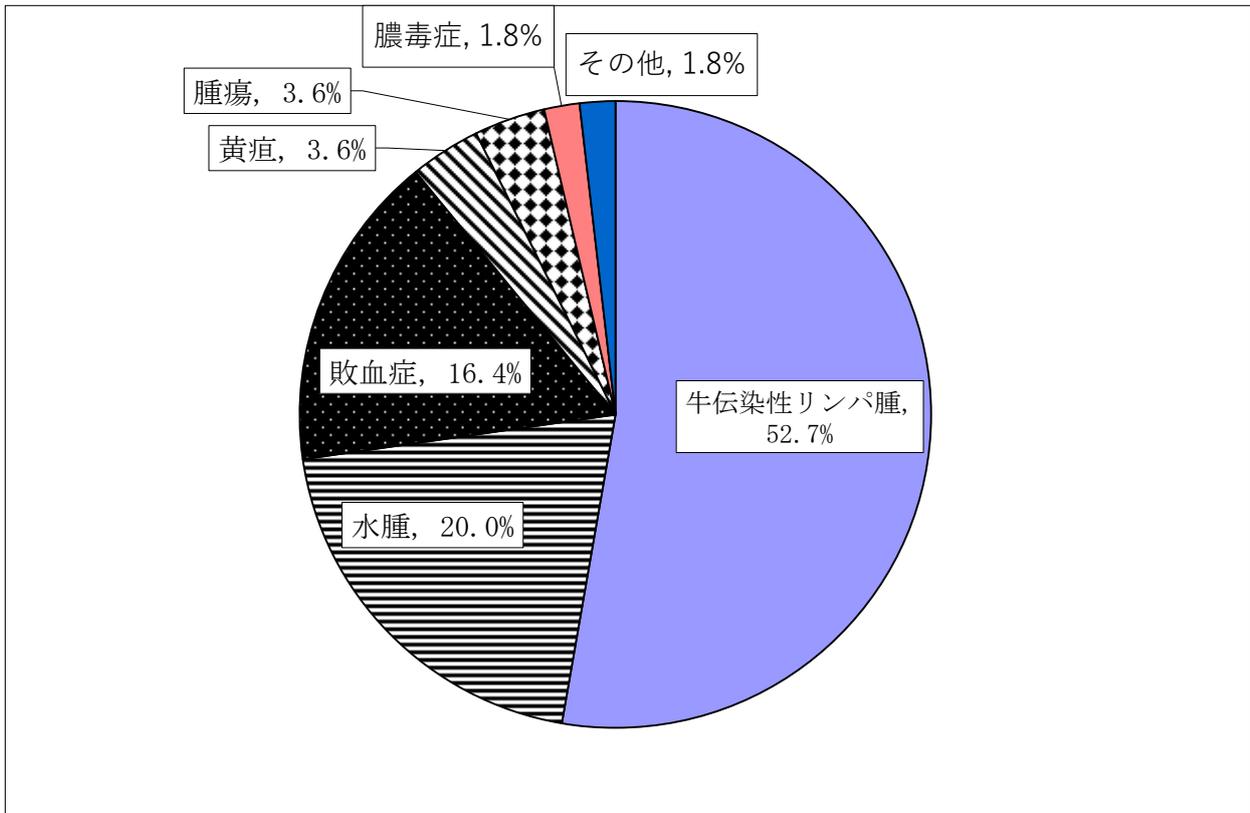
と畜場名	種別 畜種	とさつ禁止及 び 解体禁止頭数	全部廃棄 頭数	一部廃棄頭数			
				肉	内 臓	肉及び内臓	計
徳島市立食肉センター	牛	1	50	118	1,970	231	2,319
	とく		1	2	6	2	10
	馬			2	6		8
	豚		22	58	16,952	155	17,165
	緬山羊						
	小計	1	73	180	18,934	388	19,502
日本ハム ㈱附設 と畜場	豚	15	147	801	74,979	662	76,442
	小計	15	147	801	74,979	662	76,442
眉山食品㈱ 鳴門食肉 センター	豚		9	57	14,231	74	14,362
	小計		9	57	14,231	74	14,362
美馬食肉 センター	牛						
	とく						
	馬						
	小計						
株式会社 にし阿波 ビーフ	牛		4	13	468	12	493
	とく						
	小計		4	13	468	12	493
総合計	牛	1	54	131	2,438	243	2,812
	とく		1	2	6	2	10
	馬			2	6		8
	豚	15	178	916	106,162	891	107,969
	緬山羊						
	小計	16	233	1,051	108,612	1,136	110,799

5. とさつ解体禁止及び全部廃棄の疾病別頭数

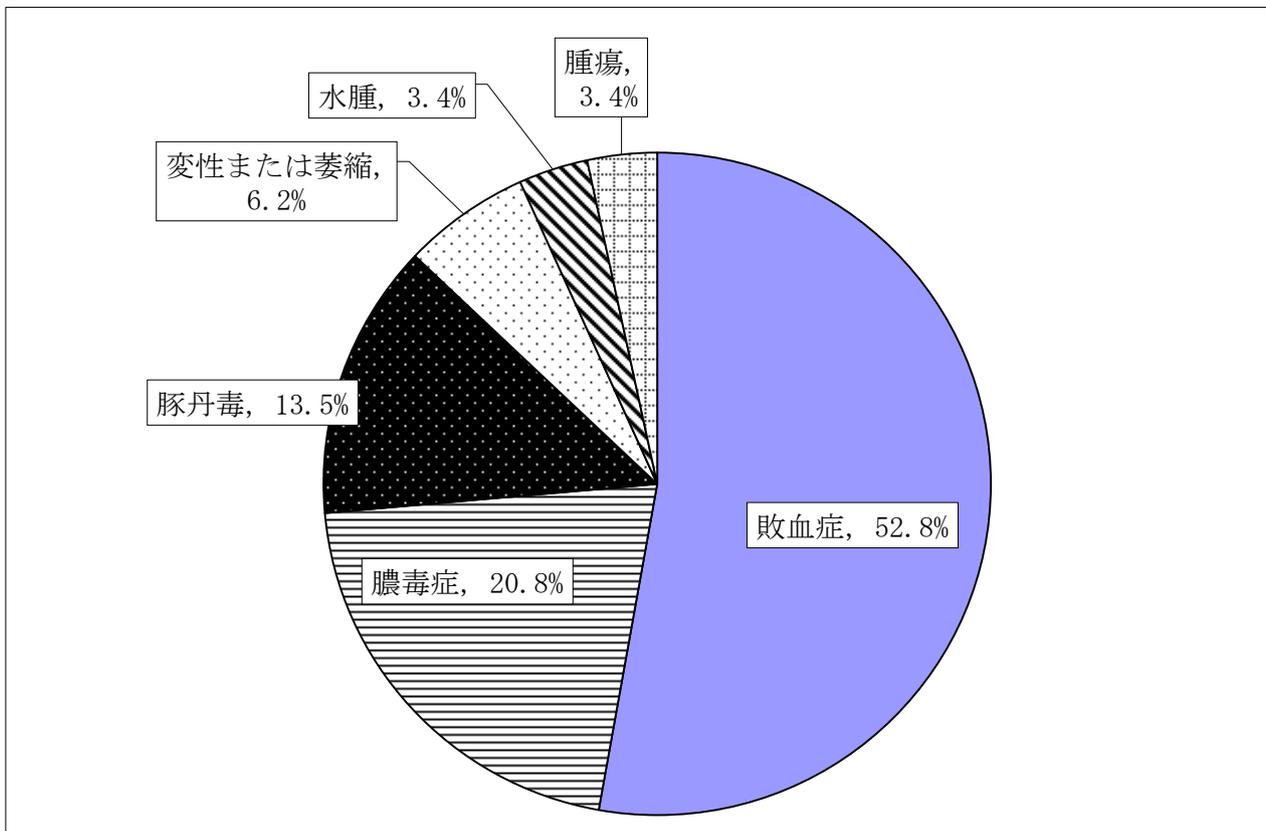
と畜場名	種別 畜種	行政処分	実頭数	総疾病数																		
				細菌病					原虫寄生虫病				その他の疾病									
				炭疽	豚丹毒	破傷風	サルモネラ症	その他	TP症	ジストマ病	囊中病	その他	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症	産物による汚染 炎症又は炎症	変性又は萎縮	その他
徳島市立食肉センター	牛	とさつ禁止	1			1																
		全部廃棄	50								1	8		2	11	27					1	
	とく	とさつ禁止																				
		全部廃棄	1									1										
	馬	とさつ禁止																				
		全部廃棄																				
	豚	とさつ禁止																				
		全部廃棄	22		1						8	7			4						2	
日本ハム ㈱附設 と畜場	とさつ禁止	15		15																		
	全部廃棄	147		23						26	82			2	5					9		
眉山食品 ㈱鳴門 食肉 センター	とさつ禁止																					
	全部廃棄	9								3	5				1							
美馬 食肉 センター	とさつ禁止																					
	全部廃棄																					
にし阿波ビーフ	とさつ禁止																					
	全部廃棄	4													4							
とく	とさつ禁止																					
	全部廃棄																					
総合計	牛	とさつ禁止	1		1																	
		全部廃棄	54								1	8		2	11	31					1	
	とく	とさつ禁止																				
		全部廃棄	1									1										
	馬	とさつ禁止																				
		全部廃棄																				
	豚	とさつ禁止	15		15																	
		全部廃棄	178		24						37	94			6	6					11	

6. 全部廃棄処分の疾病別内訳

(牛)



(豚)



7. 病畜検査頭数及び精密検査件数

			牛	とく	馬	豚	緬山羊	計	
徳島市立 食肉 センター	検査頭数		5,266	11	73	23,280		28,630	
	病畜頭数		367	9	3	6		385	
	病畜頭数(%)		6.97%	81.82%	4.11%	0.03%		1.34%	
	精密検査	細菌	頭数	8			4		12
			件数	31			17		48
		ウイルス	頭数	16					16
			件数	136					136
		病理	頭数	15			4		19
			件数	146			14		160
		理化学	頭数	4					4
件数			11					11	
日本ハム (株)附設 と畜場	検査頭数					158,138		158,138	
	病畜頭数					12		12	
	病畜頭数(%)					0.01%		0.01%	
	精密検査	細菌	頭数				54		54
			件数				226		226
		ウイルス	頭数						
			件数						
		病理	頭数				12		12
			件数				89		89
		理化学	頭数						
件数									
眉山食品(株) 鳴門食肉 センター	検査頭数					30,305		30,305	
	病畜頭数					3		3	
	病畜頭数(%)					0.01%		0.01%	
	精密検査	細菌	頭数				2		2
			件数				6		6
		ウイルス	頭数						
			件数						
		病理	頭数				1		1
			件数				9		9
		理化学	頭数						
件数									
美馬食肉 センター	検査頭数								
	病畜頭数								
	病畜頭数(%)								
	精密検査	細菌	頭数						
			件数						
		ウイルス	頭数						
			件数						
		病理	頭数						
			件数						
		理化学	頭数						
件数									
(株)にし阿波 ビーフ	検査頭数		1,502					1,502	
	病畜頭数		7					7	
	病畜頭数(%)		0.47%					0.47%	
	精密検査	細菌	頭数						
			件数						
		ウイルス	頭数	2					2
			件数	18					18
		病理	頭数	2					2
			件数	18					18
		理化学	頭数						
件数									
総合計	検査頭数		6,768	11	73	211,723		218,575	
	病畜頭数		374	9	3	21		407	
	病畜頭数(%)		5.53%	81.82%	4.11%	0.01%		0.19%	
	精密検査	細菌	頭数	8			60		68
			件数	31			249		280
		ウイルス	頭数	18					18
			件数	154					154
		病理	頭数	17			17		34
			件数	164			112		276
		理化学	頭数	4					4
件数			11					11	

8. と畜検査の保留検査状況

保留理由	種類	保留検査実施頭数	全部廃棄数	廃棄数／保留検査数
尿毒症	牛			
	豚			
黄疸	牛	1	1	100%
	豚			
豚丹毒	豚	15	7	47%
敗血症	牛	5	5	100%
	豚	33	20	61%
腫瘍	牛			
	豚	1	1	100%
牛伝染性リンパ腫	牛	17	16	94%
白血病	豚			
水腫	牛			
	豚			
その他	牛			
	豚	11	11	100%
小計	牛	23	22	96%
	豚	60	39	65%
合計		83	61	73%

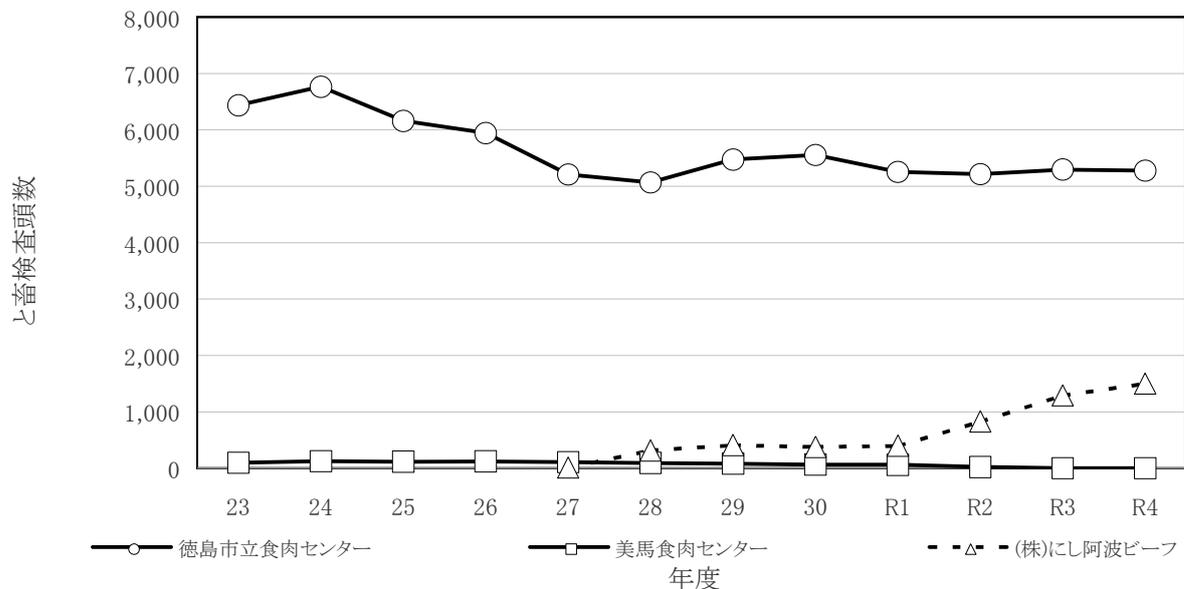
9. 残留抗菌性物質検査状況

検査項目	種類	検査頭数	陽性頭数
残留抗菌性物質	牛	1	0
	とく		
	豚		
合計		1	0

10. と畜検査頭数の推移

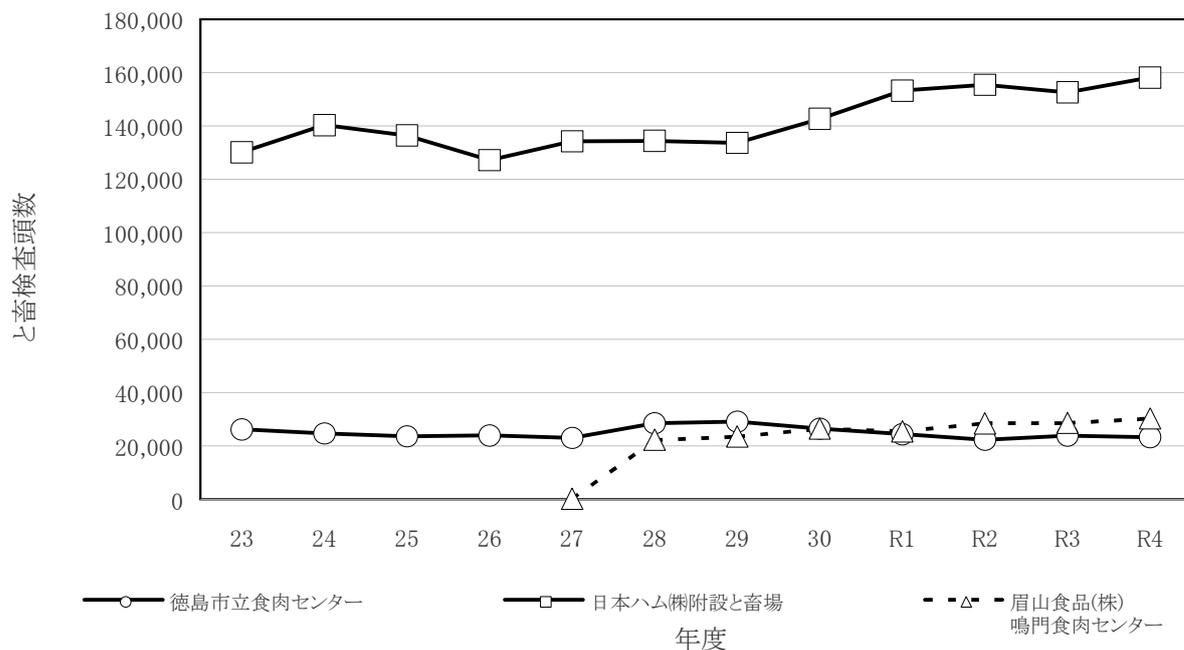
(牛)

	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
徳島市立食肉センター	6,437	6,766	6,159	5,945	5,210	5,068	5,475	5,556	5,255	5,216	5,297	5,266
美馬食肉センター	97	125	116	121	109	93	81	65	61	21	0	0
(株)にし阿波ビーフ					12	315	411	379	399	830	1,292	1,502



(豚)

	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4
徳島市立食肉センター	26,176	24,659	23,575	23,928	22,984	28,499	29,082	26,455	24,369	22,304	23,857	23,280
日本ハム(株)附設と畜場	130,089	140,285	136,428	127,165	134,201	134,374	133,630	142,623	153,227	155,388	152,555	158,138
眉山食品(株) 鳴門食肉センター					202	22,326	23,521	26,471	25,449	28,476	28,627	30,305



11. 衛生証明書発行業務

各輸出国の取扱要綱に基づき、衛生証明書発行業務を行った。

(1) 牛肉輸出可能国

マレーシア、インドネシア、シンガポール、台湾、タイ、マカオ、バングラデシュ、ベトナム、ミャンマー、アラブ首長国連邦、カタール

(2) 衛生証明書発行実績

年度	発行件数
平成28年度	1
平成29年度	20
平成30年度	49
令和元年度	85
令和2年度	206
令和3年度	327
令和4年度	348

(3) 輸出実績 (kg) : 牛肉

年度 \ 輸出国	マレーシア	インドネシア	タイ	シンガポール	台湾	マカオ	バングラデシュ	合計
平成28年度	0	0	0	0	0	1,258	0	1,258
平成29年度	11,453	146	414	0	704	287	0	13,004
平成30年度	14,458	1,332	26	0	517	0	27	16,360
令和元年度	19,466	1,056	37	0	0	0	0	20,559
令和2年度	113,753	16,698	1,026	1,033	1,821	0	0	134,331
令和3年度	201,695	24,414	13,036	3,860	2,447	345	0	245,797
令和4年度	257,996	39,736	12,642	5,874	0	0	0	316,248

第3章 畜水産食品等検査事業

1. 畜水産食品等検査事業の概要

食肉中の残留有害物質の排除及び食肉の微生物汚染の防止の徹底を図るため、各種の疾病診断、残留有害物質検査、残留動物用医薬品検査及び枝肉等の微生物汚染状況の検査を実施した。

細菌検査

と畜場の衛生確保対策の一環として、一般生菌、腸内細菌科菌群等を衛生指標菌とする、牛・豚枝肉の切除法による微生物試験及び施設の拭き取り検査を実施した。

理化学検査

徳島県食品衛生監視指導計画に基づき、県内産等の畜水産食品の残留動物用医薬品の検査を実施した。

ウイルス検査その他

県内の野生鳥獣のE型肝炎ウイルス、SFTSウイルス、食中毒細菌、寄生虫、放射性物質等の検査を実施した。

2. 畜水産食品等の試験検査件数

検査部門	牛	豚	その他	計
細菌検査	133	180	60	373
理化学検査	20	124	25	169
ウイルス検査他	154	0	86	240

3. 残留有害物質モニタリング検査件数

「徳島県食肉衛生検査所残留有害物質モニタリング検査実施要領」を定め、当所にて畜水産食品を対象に動物用医薬品等のモニタリング検査を実施した。

検査項目	種類	検査件数	陽性件数
残留動物用医薬品	牛	20	0
	豚	124	0
	鶏	40	0
	アマゴ	2	0
	アユ	2	0
	ハマチ	3	0
	ウナギ	4	0
	輸入肉	14	0
残留農薬	牛	0	0
	豚	0	0
	鶏	0	0
	その他 (シカ・イノシシ)	20	0
合計		225	0

4. 枝肉及び施設等の微生物検査件数

衛生管理対策として、枝肉の切り取り検査及び施設等の拭き取り検査を実施し、一般生菌数及び腸内細菌科菌群数の検証を行い、衛生管理指導の一助とした。

と畜場名	牛		豚		イノシシ
	枝肉	施設その他	枝肉	施設	部分肉
徳島市立食肉センター	65	0	60	0	
日本ハム(株)附設と畜場			60	0	
眉山食品(株)鳴門食肉センター			60	0	
美馬食肉センター					
(株)にし阿波ビーフ	68	60			
その他の施設					20
合計	133	60	180	0	20

5. 放射性物質検査

食品の安全性の確保を目的として、平成23年12月に「ゲルマニウム半導体検出器」を新たに設置し、県内産及び対象自治体等から県内のと畜場に搬入され解体された牛の肉や県内に流通する食品を対象とし、これらに含まれる放射性物質について検査を実施した。

検査件数

品目	検体数	違反検体数
飲料水	3	0
牛乳・乳児用食品	9	0
水産物	9	0
農産物	51	0
その他の食品	3	0
食肉	29	0
シカ・イノシシ	22	0
総計	126	0

第4章 伝達性海綿状脳症対策事業

1. 伝達性海綿状脳症対策事業の概要

平成13年9月に我が国初の牛海綿状脳症（BSE）が確認されて以降，と畜場においては全ての牛を対象とした特定部位の除去と管理，BSEスクリーニング検査を行ってきたが，平成29年4月からは健康牛に対するBSEスクリーニング検査は廃止となり，生体検査において原因不明の神経症状または原因不明の全身症状を示す24ヶ月齢以上の牛についてのみ実施することとなった。

本県においては，平成29年度から令和4年度までの間に，BSEスクリーニング検査の対象となる牛は搬入されていない。

また，特定部位については，引き続きと畜場において除去・管理を徹底し，食肉の安全・安心の確保に努めた。

2. 牛海綿状脳症（BSE）スクリーニング検査件数

該当なし

3. めん羊・山羊の伝達性海綿状脳症（TSE）スクリーニング検査件数

該当なし

第5章 食鳥指導事業

1. 食鳥指導事業の概要

本県では、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律（平成3年4月1日施行）に基づく食鳥検査を、徳島県知事指定検査機関である「公益社団法人 徳島県獣医師会 食鳥検査センター」に委任している。

県内の食鳥処理場は10施設であり、その内検査対象処理施設である大規模食鳥処理場が5施設、認定小規模処理施設が5施設となっており、令和4年度の食鳥処理羽数は約23,471千羽と前年度と比較し約238千羽の増加となった。

食肉衛生検査所は、食鳥肉の衛生確保を目的とし、食鳥処理場へ立ち入り監視を行い、施設設備の改善及び衛生管理指導を実施するとともに、収去検査による微生物検査や残留有害物質検査を実施し、食鳥肉の安全と衛生確保に努めている。

また、食鳥検査に伴う精密検査実施規定により、食鳥検査の精度向上のための協力を行っている。

2. 食鳥処理施設

施設の種別		施設数
大規模 食鳥処理場	年間処理羽数500万羽以上1,000万羽未満の施設	1
	年間処理羽数100万羽以上500万羽未満の施設	4
認定小規模 食鳥処理場	とさつ及び内臓の摘出の両方を行う施設	3
	内臓の摘出のみを行う施設	2
計		10

令和5年3月31日現在

3. 食鳥処理の状況

(単位：羽)

		生 鳥 処理羽数	丸と体 処理羽数	丸と体 出荷羽数	とさつ解体 禁止羽数	廃 棄 羽 数
ブ ロ イ ラ ー	大規模食鳥処理場	23,128,960		30,577	107,053	434,648
	認定 小規模 食鳥 処理場	0	7,018	0	0	246
	内臓の摘出のみ を行うもの		0		0	0
	小 計	23,128,960	7,018	30,577	107,053	434,885
成 鶏	大規模食鳥処理場	272,018		0	7,334	2,781
	認定 小規模 食鳥 処理場	62,567	0	0	0	89
	内臓の摘出のみ を行うもの		0		0	0
	小 計	334,585	0	0	7,334	2,870
合 計	大規模食鳥処理場	23,400,978		30,577	114,387	437,429
	認定 小規模 食鳥 処理場	62,567	7,018	0	0	237
	内臓の摘出のみ を行うもの		0		0	0
	計	23,463,545	7,018	30,577	114,387	437,755

4. 食鳥検査羽数及び食鳥のとさつ、内臓の摘出禁止又は廃棄したもの原因

		ブロイラー			成 鶏			計				
検査羽数		23, 128, 960			272, 018			23, 400, 978				
		禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄	禁止	全部 廃棄	一部 廃棄		
処分実羽数		107, 053	187, 633	247, 015	7, 334	2, 781		114, 387	190, 414	247, 015		
疾	ウイルス・クラミジア病	鶏痘										
		鶏伝染性気管支炎										
鶏伝染性喉頭気管炎												
ニューカッスル病												
鶏白血病												
鶏封入体肝炎												
マレック病		13	1, 584					13	1, 584			
その他												
病	細菌病	鶏大腸菌症		72, 993			36		73, 029			
		伝染性コリーザ										
		家きんサルモネラ症										
		鶏ブドウ球菌症		1			2		3			
		その他		45					45			
別	その	毒血症										
		膿毒症										
		敗血症		979			2		981			
		真菌症		2					2			
		原虫病 (トキソプラズマ病を除く)			2, 038					2, 038		
	寄生虫病			27					27			
	羽	他の	変性	51, 560	48, 170	31, 031		87	51, 560	48, 257	31, 031	
			尿酸塩沈着症									
			水腫	63	54					63	54	
			腹水症	10, 252	26, 048		106	65		10, 358	26, 113	
出血			4	1, 617	12, 343		27		4	1, 644	12, 343	
炎症			7	14, 685	199, 664		752		7	15, 437	199, 664	
萎縮				18	1, 524					18	1, 524	
腫瘍				447	165		1, 177			1, 624	165	
臓器の異常な形等				50	1					50	1	
数			病	異常体温								
	黄疸	3		236			1		3	237		
	外傷			5	172					5	172	
	中毒諸症											
	削瘦及び発育不良	38, 679		11, 731		5, 135	361		43, 814	12, 092		
	放血不良	5, 380		7, 360		1, 522	97		6, 902	7, 457		
	湯漬過度	711		362					711	362		
	その他	381		1, 246	50	571	174		952	1, 420	50	
	計			107, 053	187, 633	247, 015	7, 334	2, 781		114, 387	190, 414	247, 015

((公社)徳島県獣医師会食鳥検査センター資料から引用)

5. 許可，変更，認定等の件数

区分	施設数	許可件数	休・廃止 件数	変更件数	確認規程 認定件数	確認規程 廃止件数	衛生管理者 配置・変更人 数
大規模 食鳥処理場	5	0	0	1			10
認定小規模 食鳥処理場	5	0	0	0	0	0	0
計	10	0	0	1	0	0	10

令和5年3月31日現在

6. 指導等の状況

(単位：件数)

区分	指導件数			法第20条の措置		
	監視件数	指導件数	指導票 交付数	とさつ等 の禁止	消毒等 の命令	廃棄等 の措置
大規模 食鳥処理場	129	67	0	0	0	0
認定小規模 食鳥処理場	6	1	0	0	0	0
計	135	68	0	0	0	0

7. 収去検査等の状況

区分	収去検査			その他の 採取方法による検査	
	検体数	細菌検査	残留抗生物質 検査	細菌検査 検体数	その他 件数
大規模 食鳥処理場	20	0	20	335	79
認定小規模 食鳥処理場	0	0	0	0	0
計	20	0	20	335	79

8. 精密検査件数

令和4年度は収去・微生物試験以外に食肉衛生検査所職員による食鳥検査に係わる精密検査の実施はなかった。また、食鳥検査員による検査も実施されなかった。

第6章 調査研究・啓発事業等

1. 研修・学会等の状況

令和4年度

- ・「食鳥処理工程における蒸気殺菌機の効果について」

10月 全国食肉衛生所協議会中国・四国ブロックで、令和4年度食肉及び食鳥肉衛生研究発表会演題に選出。

1月 令和4年度食肉及び食鳥肉衛生研究発表会で厚生労働省医薬・生活衛生局長賞受賞。

- ・「LC-MS/MSを用いた畜産物中の残留動物用医薬品スクリーニング検査法の検討」

8月 四国4県食品衛生監視員研修会で、口頭発表演題に選出。

9月 獣医学術四国地区学会（日本獣医公衆衛生学会）で地区学会長奨励賞を受賞。

10月 全国食肉衛生所協議会理化学部会

11月 全国食品衛生監視員研修会（口頭発表）

11月 日本獣医学術学会（口頭発表）

- ・「鶏の腹腔内腫瘍」

10月 全国食肉衛生検査所協議会病理部会研修会で食肉及び食鳥肉衛生研究発表会口頭発表演題に選出。

1月 食肉及び食鳥肉衛生研究発表会（口頭発表）

- ・「狩猟動物のレプトスピラ保有状況調査について～動物由来感染症対策からみる徳島県のOneHealthの取り組み～」

9月 全国公衆衛生獣医師協議会調査研究発表会で優秀課題に選出。

2. 啓発事業等の状況

1) 衛生講習会

管内と畜場の設置者・管理者が実施する講習会に出席し、作業従事者等に対し衛生講習を実施した。

2) と畜場・食鳥処理場HACCP推進事業

HACCPシステムをと畜場・食鳥処理場に導入することによって衛生管理を高度化し、さらに「徳島県衛生管理認証（徳島県版HACCP認証制度）」に基づく認証を推進するため、衛生指導等を実施した。現在、県内と畜場4カ所及び大規模食鳥処理場5カ所がHACCPシステムを導入している。

各と畜場の担当者会議における衛生指導 (週1回～月1回)

食鳥処理衛生管理者研修会及び徳島県食鳥処理場 (9月リモート開催)

HACCP推進協議会総会及び技術研修会

3) 公衆衛生分野のインターンシップ事業

食肉衛生検査所をはじめとした公衆衛生獣医師の業務に理解や興味をもってもらい、また食肉の安全・安心に関する正しい知識の啓発のためにインターンシップ事業を実施した。

(参加者)

獣医学科の大学生 (7名)